

2023年2月10日

個人投資家様向け 会社説明会

高松機械工業株式会社
(証券コード：6155)

TAKAMAZ



目次

1

会社概要

2

当社の強み

3

成長戦略

4

株主還元

(参考資料)

説明者紹介



代表取締役社長

たかまつ そういちろう
高松 宗一郎

【主な経歴】

2000年 4月 当社 入社
2008年 4月 自動車部品生産部長
2010年 4月 管理本部総務人事部長
2010年 6月 取締役管理本部総務人事部長
2013年 4月 取締役営業本部海外営業部長
2014年10月 代表取締役副社長
2018年 4月 代表取締役社長

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。記載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

会社概要



会社概要

会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）
連結売上高	167億20百万円（2021年度）
正社員数	連結：615名 単体：539名（平均年齢 38歳）
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・第4工場 ・開発センター

本社工場



あさひ工場



他4生産拠点

石川県



※従業員数は2022年12月末現在です。

会社概要

沿革

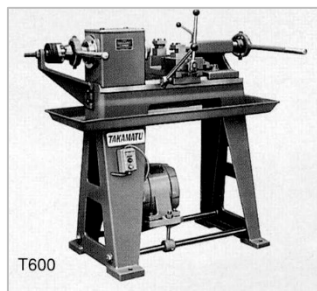
1948

初代社長
高松喜一が個人創業



1960

工作機械分野に進出



1961

高松機械工業株式会社
を設立

1985

現在地に本社工場移転



2001

店頭登録市場に上場

自動車部品分野に進出

2002

I T 関連分野に進出

2006

東証二部に上場



2018

高松宗一郎
社長就任

創業70周年



2022

あさひ工場設立

東証スタンダード
市場に移行

会社概要

経営理念

高松機械は「**社会に貢献**」する。

お客様には、安全でメリットのある商品を
従業員には、生活の安定と希望を
株主には、適切な配当を提供すると共に、
協力企業とも共存共栄の精神をもって、
社会の発展に積極的に貢献する。

モットー

「稼ぐ機械を提供する」

事業内容

工作機械事業
(148億34百万円)

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場



あさひ工場



他 第2工場、第4工場

I T 関連製造
装置事業
(15億87百万円)

事業内容

液晶基板や半導体
などに関する
製造装置の製造

生産拠点

開発センター



自動車部品
加工事業
(2億98百万円)

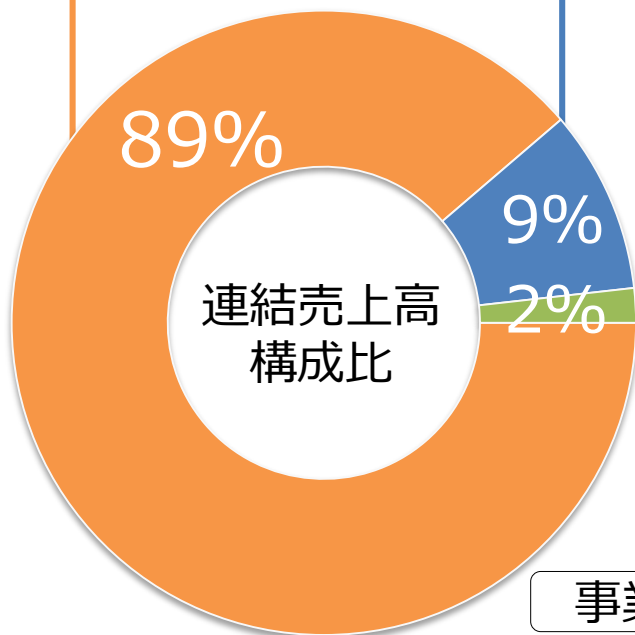
事業内容

自社製旋盤による
自動車部品の加工



生産拠点

第3工場



連結売上高
構成比

※売上高及び売上高構成比は2021年度の数値です。

業種別受注先の状況

機械

8%

近年の主な納入先

- ・川崎重工業
- ・クボタ

鉄鋼・非鉄金属

精密機械

電気機械

自動車関連

45%

近年の主な納入先

- ・トヨタ自動車
- ・SUBARU
- ・本田技研工業
- ・デンソー
- ・ジャトコ

金属製品

10%

近年の主な納入先

- ・三木プーリー
- ・SMC

その他製造業

14%

近年の主な納入先

- ・マックス
- ・ブリヂストン

商社・代理店・ 官公需・学校

18%

近年の主な納入先

- ・ユアサ商事
- ・山善

2021年度
構成比

今後の自動車業界

自動車業界の動向

● 自動車のEV化による新たな需要

脱炭素社会の実現に向け、EV（電気自動車）にシフトする動きが加速

→ 自動車業界の変遷期による需要拡大

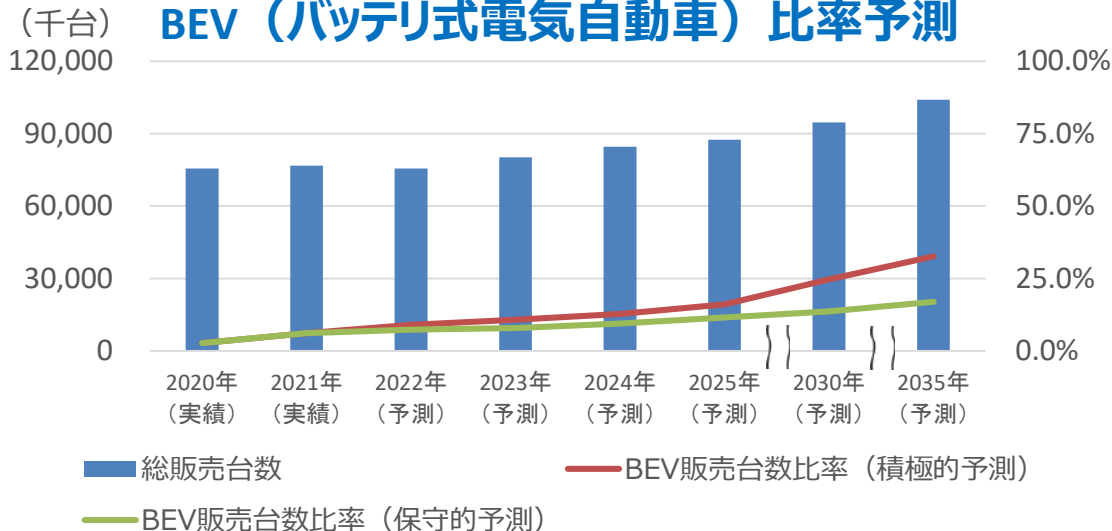
● 新興国で高い需要

中南米や東南アジアといった新興国の発展による自動車需要拡大

→ 現地での自動車生産増加による海外市場拡大

自動車向けの
市場は拡大

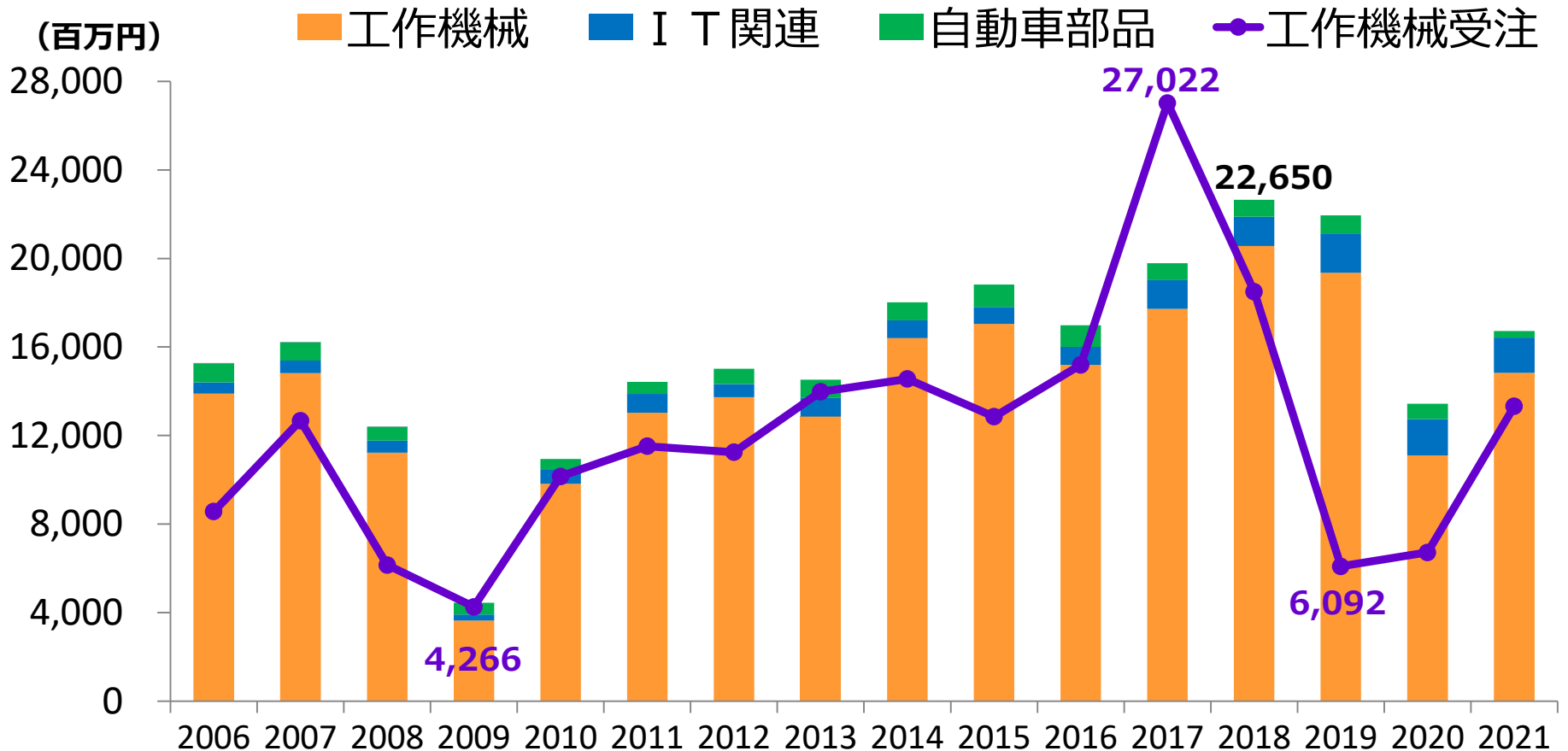
世界自動車販売台数予測と BEV（バッテリー式電気自動車）比率予測



(出所：矢野経済研究所より作成)

◀ 世界の自動車販売台数は
今後も増加見込み

■ 連結売上高・工作機械受注高の推移



- 2009年度：リーマンショック、2019年度：米中貿易摩擦、新型コロナ
- 2017年度は**過去最高受注高**、2018年度は**過去最高売上高**を達成
- 2022年度にあさひ工場が稼働開始し、生産能力が拡大

成長の基盤となる新工場

フラッグシップ・ファクトリー（旗艦工場）である
「あさひ工場」が当社の更なる成長を支えます

本社工場とともに工作機械事業の生産を担う



SDGsを意識し、
人にも環境にも優しい工場へ



- 環境に配慮した設備
- ITの積極的活用
- 安心・安全設計の製造フロア
- 社員の健康と楽しみをつくるカフェテリア

あさひ工場概要

住所	石川県白山市旭丘4丁目13番地
人員	約160名（主に営業部門、製造部門）



地下水を利用し
予冷・予熱効果が得られる
空調システムを導入

■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点： **9** か所

関東、大阪、名古屋、
浜松、厚木、東北、
北陸、信越、広島

国内グループ会社： **2** 社

- タカマツエマグ
- F T J

海外グループ会社： **9** 社

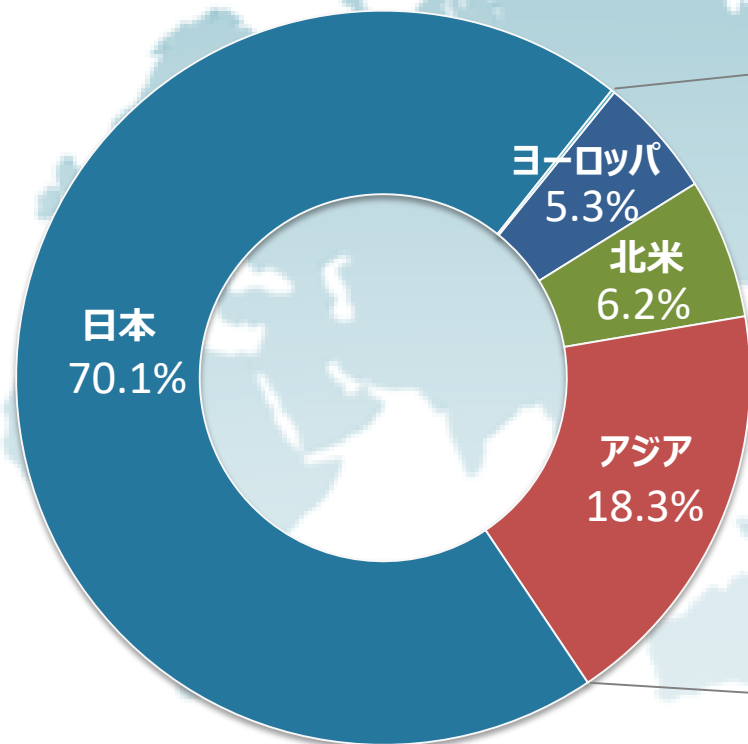
- T M U (アメリカ)
- T M E (ドイツ)
- T M T (タイ)
- T P M P (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- P T T I (インドネシア)
- T M V N (ベトナム)
- T M M X (メキシコ)

国内では、多くのユーザが集まる地域での営業拠点の開設
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立

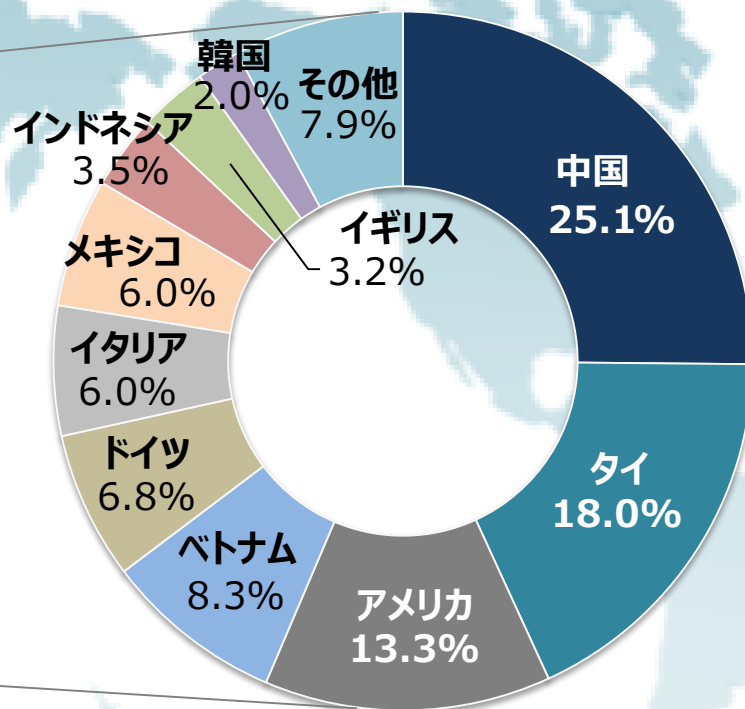
迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

グローバル展開

地域別連結売上高



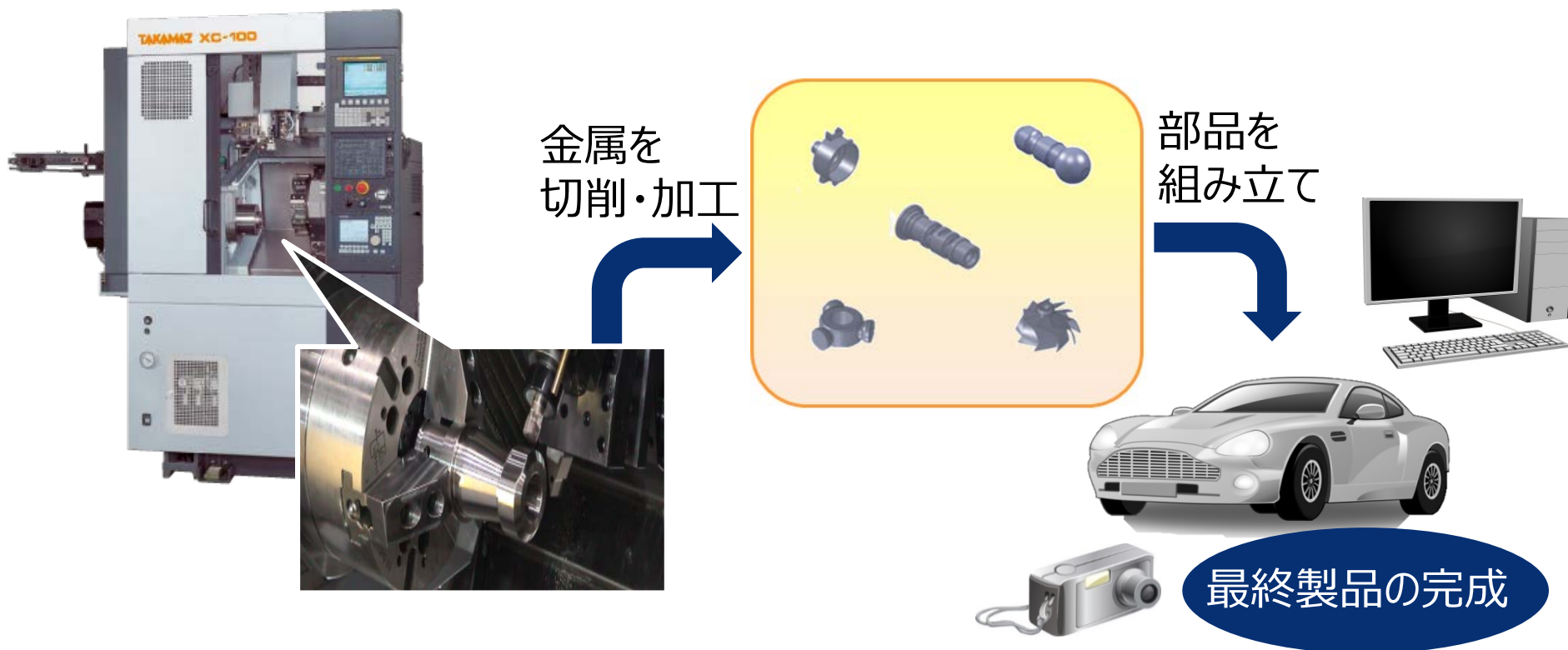
海外国別連結売上高



- 7割が日本国内向け
- 海外売上上の主要国は、中国・タイ・アメリカ
- 今後成長が見込める海外のシェア拡大を強化

※売上高は2021年度の数値です。

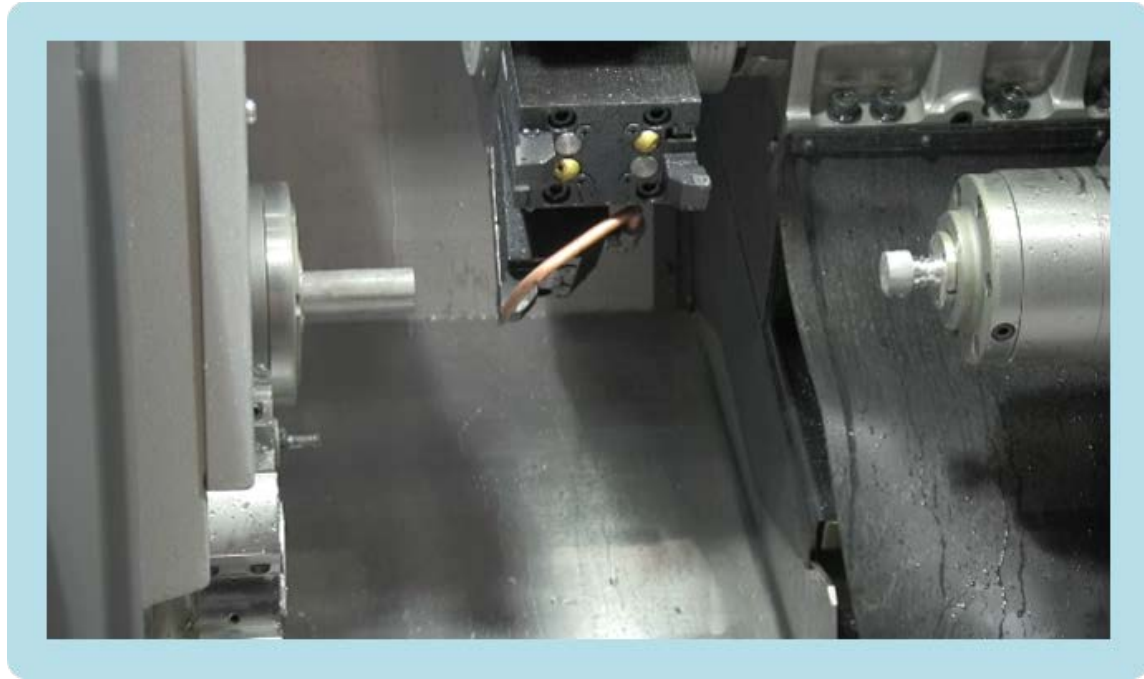
■ 工作機械とは



工作機械とは？

金属を所定の形や大きさに加工し、様々な製品の部品を作る機械。工作機械そのものも工作機械によって作られているため、工作機械は、「機械を作る機械」、あるいは「マザーマシン」と言われている。

CNC旋盤とは



CNC旋盤とは？

旋盤とは、加工物を回転させ、刃物で切削加工を行う工作機械の一種。

CNC旋盤は、旋盤の中でも、部品加工をコンピュータによって制御し、自動で加工する仕組みを搭載している機械のこと。

当社製品による加工例

当社製品による加工例

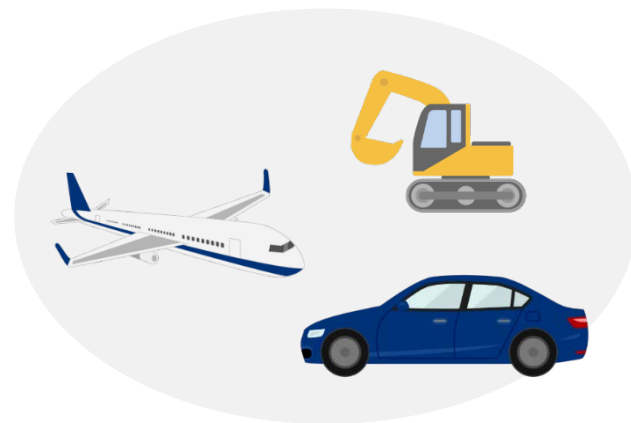
✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工



加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 医療機器
- 家電製品

**主力受注先の自動車関連以外の分野の
新規開拓にも注力**



競業状況

主な競合他社

TAKISAWA、村田機械、FUJI 等

業界に占めるシェア

※2021年度実績

工作機械業界全体

受注

シェア**0.8%**

業界…1兆6,675億円
当社…133億円

売上

シェア**1.3%**

業界…9,861億円
当社…125億円

旋盤のみ

受注

シェア**2.4%**

業界…5,522億円
当社…133億円

売上

シェア**2.7%**

業界…4,623億円
当社…125億円

2

当社の強み



高い技術力でお客様のニーズに対応

お客様を取り巻く環境

- ✓ 人手不足
- ✓ 人件費高騰
- ✓ カーボンニュートラル
- ✓ S D G s
- ✓ 次世代自動車の開発

現代のニーズに応える
工作機械製品が求められる

TAKAMAZ の強み

人手不足や人件費高騰に対応できる
自在なカスタマイズ性に優れた

① 自動化技術

E V 化等の新しいお客様のニーズに応える

② 製品開発力

カーボンニュートラル・S D G s 達成に寄与する

③ 省エネ・省スペース製品

**高い技術力で
お客様のあらゆるニーズに対応**

ユーザのリピート率 90%以上

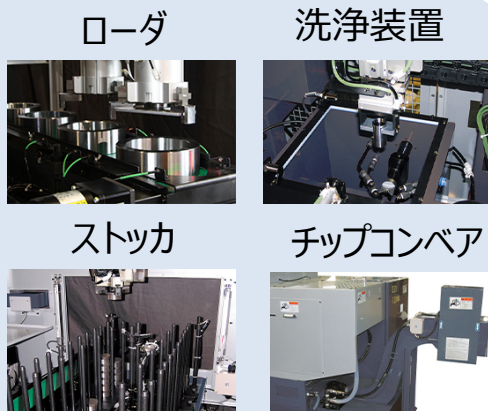
■ 強み① 自動化技術

● 豊富なノウハウと製品群

- 早くから自動化技術に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

● 設計～製造まで一貫した生産体制

自動化装置・システムを自社で開発



当社CNC旋盤



自動化装置群



お客様仕様の生産ライン

■ 強み① 自動化技術

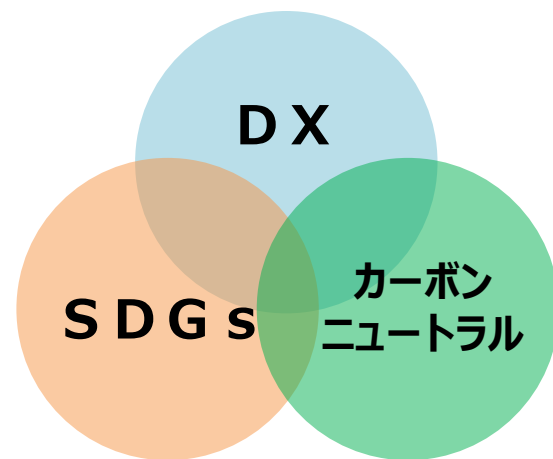
【当社製品で構築された自動生産ライン】



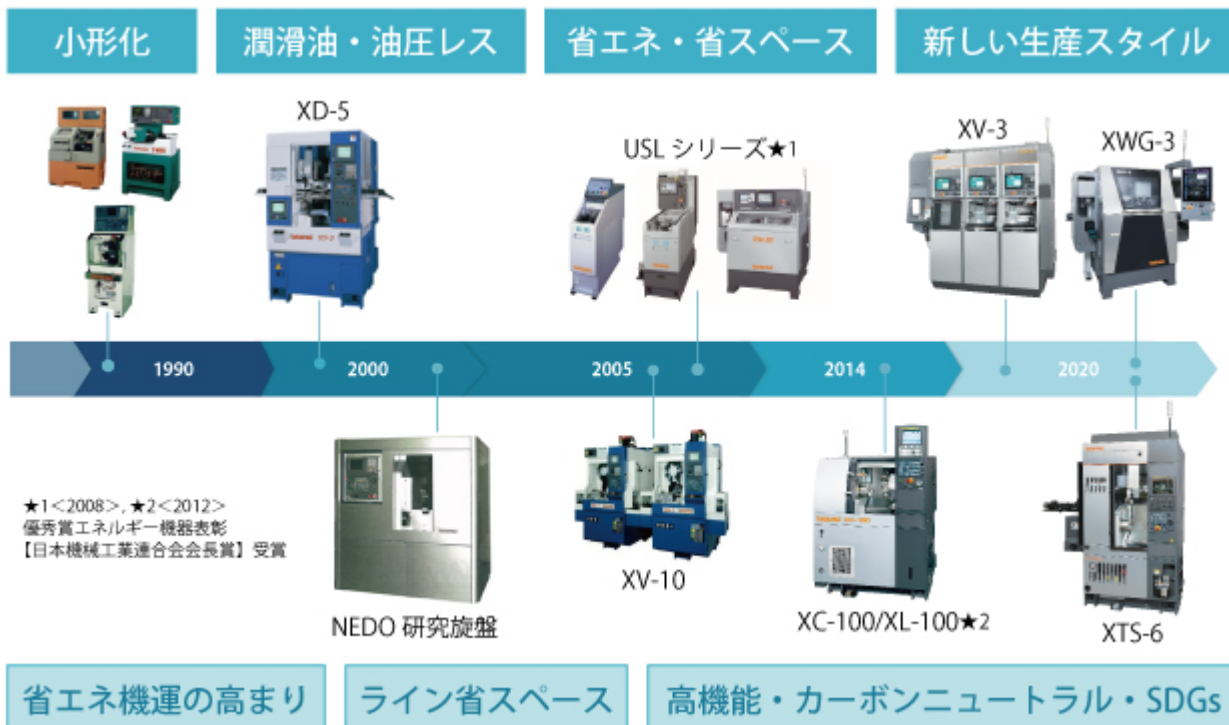
強み② 製品開発力

ユーザーニーズに応える製品開発

- ✓ 小型ながらも高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現
- ✓ 「DX」「SDGs」「カーボンニュートラル」の3つのキーワードをもとに製品を開発



環境に配慮した製品開発



★1<2008>、★2<2012>
優秀賞エネルギー機器表彰
【日本機械工業連合会会長賞】受賞

TAKAMAZは、1990年代から環境に配慮したCNC旋盤の開発に注力

■ 強み③ 省エネ・省スペース製品

カーボンニュートラル実現・SDGs達成に寄与する新製品

NEW XWG-3

カーボンニュートラルに貢献

- ✓ 排熱として放出していた電気エネルギーを装置の電源として再利用できる電源回生方式の採用により省エネ効果アップ
- ✓ 動作高速化 **+33%** (従来機比較)



NEW XTs-6

業界最小のコンパクト性

- ✓ 従来機より更なる小型化を追求、業界クラス最小のフロアスペース達成
- ✓ 安定した加工精度により高い生産性を実現
- ✓ CO₂排出量年間 **245kg-CO₂削減** (従来機比較)



3

成長戦略



■ 中期計画 2024

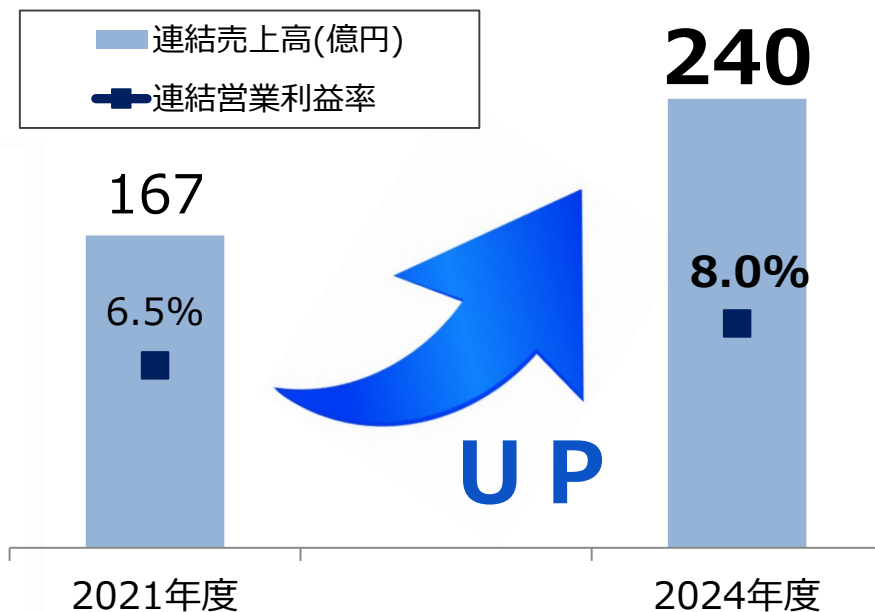


基本方針

チェンジ！ チャレンジ！ 2024！
当たり前を「変える」、新しいことに「挑戦する」

2024年度 数値目標

営業利益率	<u>8.0%以上</u>
連結ROE	<u>8.0%以上</u>
連結売上高	<u>240億円以上</u>



■ 中期計画 2024

チェンジ・
チャレンジ

主要戦略

加速する事業環境の変化への対応

創業90周年に向けて成長シナリオを描く

工作機械事業の質的転換

新しい価値の提供で市場開拓・シェア拡大

収益構造の改善

稼ぐ力の強化、増員だけに頼らない生産性向上

経営基盤の強化

既存事業・新規事業の売上高拡大、人材投資

サステナビリティの実現

挑戦し続けるモノづくりを通じた実現

連結売上高

過去最高

240 億円達成

チェンジ・チャレンジ



●多品種少量向け省人化装置「ServoRot」システムの販促

ServoRot



- ✓ 工作機械製品と組み合わせる自動化システム
- ✓ 昼夜を問わず無人運転を実現
- ✓ 安定供給・多台数管理も可能

→ お客様の生産効率の大幅アップに寄与

機械と組み合わせでの販売

製品単体での販売開始

●本社工場の生産レイアウト見直しを実施

- ✓ 生産レイアウト見直しによる工程間の物と人の移動のムダ削減
→ 精密組立室を移設（2月末完成予定）



■ チェンジ・チャレンジ

● 創業90周年(2038年)に向けた社内プロジェクト始動

- ・トップ層（経営幹部）とミドルボトム層（中堅若手社員）でそれぞれプロジェクトチームを立ち上げ、会社の未来について議論

未来プロジェクト・チーム（経営幹部）

- ✓ 創業90周年（2038年）に向け当社の進むべき方向性を検討
- ✓ 全社最適をベースに、部門の枠を超えた強力なコミットメント



未来推進チーム（中堅若手社員）

- ✓ 若手社員の意見を吸い上げる場としてモチベーションアップを目指す
- ✓ 全社最適をベースに新しい業務スタイルを検討

チェンジ・
チャレンジ



社長と未来推進チームの
ランチミーティングの様子



未来推進チームの議論の様子

会社が目指す未来に向けて、チェンジ・チャレンジの方向性を決定

サステナビリティ基本方針

TAKAMAZUは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。

《サステナビリティ体系図》

ESG	分類	マテリアリティ (重要課題)	取り組み方針	SDGsの達成
	① 環境 (E)	モノづくりを通じて 地球環境の 負荷を軽減します	①地球にやさしい製品を提供します。	
			②企業活動での省エネルギー化を推進します。	
			③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	
② 社会 (S)	モノづくりを通じて 社会に貢献します	①安全・安心・高品質な製品を安定的に提供します。		
		②アフターコロナを見据えた企業活動を推進します。		
		③協力企業と連携します。		
		④地球社会に貢献します。		
③ ガバナンス (G)	社員と会社の 持続的な成長を 目指します	①働きやすい、働きがいのある職場環境を 整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。		
	経営基盤を さらに強化します	②健康経営を推進します。		
			③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
			①全社最適な会社運営を行います。	
			②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の 投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	

サステナビリティの実現

TOPICS

● カーポート型太陽光発電設備の導入（今春予定）

環境負荷低減への取組み



- ✓ CO2排出量14%削減
- ✓ カーポート型PPA（太陽光発電設備の第3者所有モデル）は北陸初

※左図は完成イメージ

● 株主様向けあさひ工場見学会の実施（2022年9月）

ステークホルダーとの対話



- ✓ 会社概要説明及び工場見学
- ✓ 社長との質疑応答

当社HP内サステナビリティページのご紹介



サステナビリティページトップ



活動報告



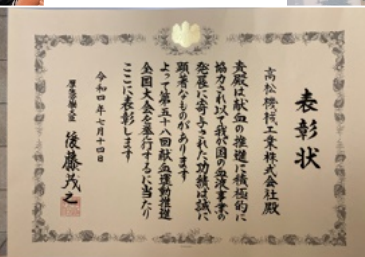
サステナビリティレポート

当社のサステナビリティの取組み、サステナビリティレポート等を掲載しています。ぜひご覧ください！

サステナビリティの取組み



©ZWEIGEN
KANAZAWA



4

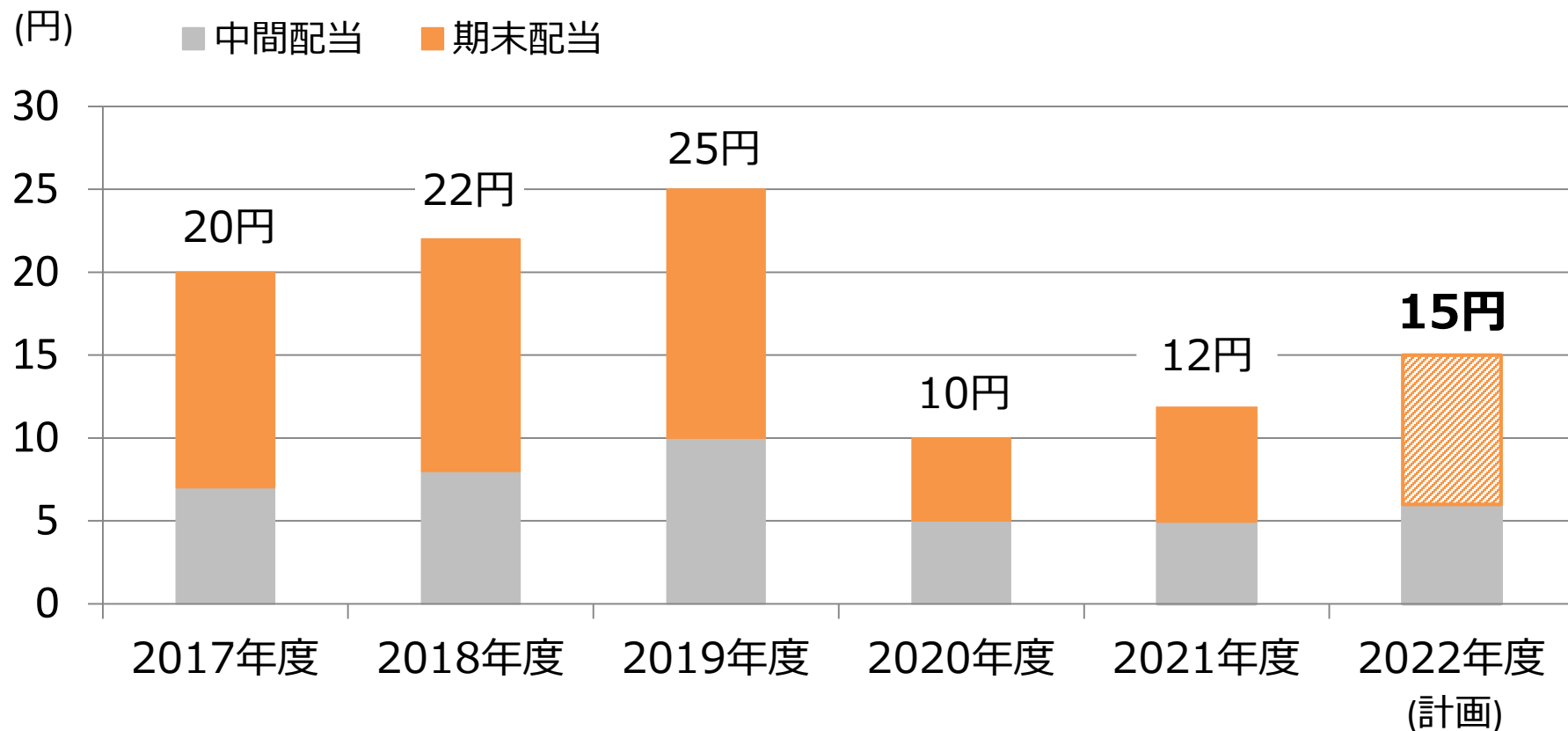
株主還元



株主還元

● 配当政策

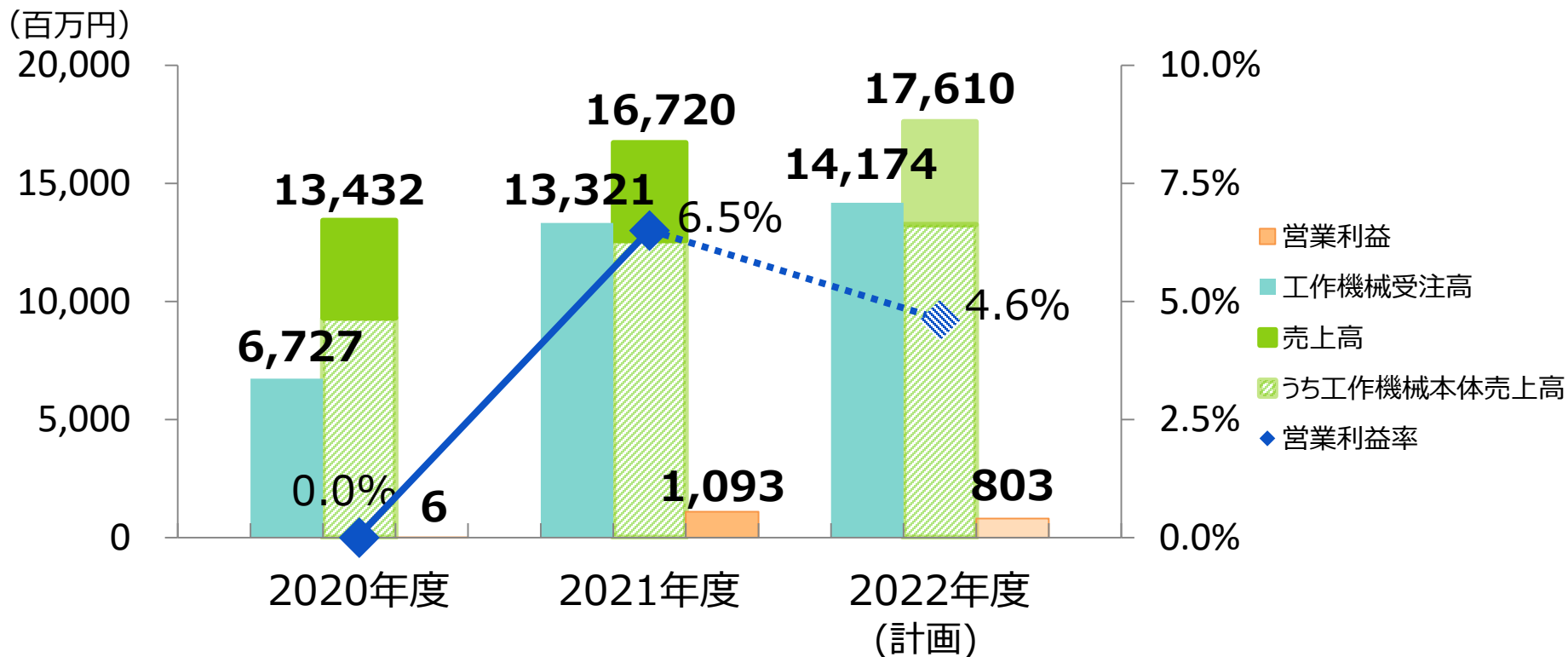
- ✓ 中間配当 6 円実施、期末配当 9 円予定
- ✓ 前期12円に対し、3円の増配となる年間15円を計画



(参考資料)

(参考) 2022年度計画

連結業績予想



- ✓ 新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等から、先行きに不透明感があるものの、緩やかな経済回復が継続することが見込まれ、売上高は更なる増加を予想
- ✓ あさひ工場の操業開始による減価償却費や諸経費の増加が影響し、利益が減少

(参考) 2022年度計画

第3四半期連結決算状況

(百万円)

	2021年度 第3四半期		2022年度 第3四半期		対前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減	比率 (%)
受注高	9,979	-	9,650	-	△ 329	△ 3.3
受注残高	6,128	-	6,983	-	+ 855	+ 14.0
売上高	12,201	100.0	11,731	100.0	△470	△ 3.9
売上原価	9,065	74.3	8,762	74.7	△303	△ 3.3
売上総利益	3,135	25.7	2,968	25.3	△ 166	△ 5.3
販管費	2,404	19.7	2,749	23.4	+ 344	+ 14.3
営業利益	731	6.0	219	1.9	△ 511	△ 70.0
経常利益	782	6.4	315	2.7	△ 466	△ 59.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	546	4.5	231	2.0	△ 314	△ 57.5

- ✓ 部品調達難や原材料価格高騰の影響が続き、売上・利益ともに減少
- ✓ 国内外の展示会出展や新製品の市場投入など精力的な営業活動を実施
- ✓ 部品調達難が生産に影響し、受注残高が増加

(参考) 2022年度計画

主要戦略

**「チェンジ」「チャレンジ」に取り組み、
全体最適な経営基盤づくりと経営目標の必達をはかる**

1. 受注高の拡大

更なる成長に向け、全部門一体となって受注獲得

- 変化する市場への対応と開拓
- お客様のニーズを満たす新製品の投入
- 新しい営業手法の推進
- 新組織による事業体制の強化

ホームページ



SNS



公式YouTubeチャンネル



公式Instagram



公式facebook

■ (参考) 2022年度計画

2. 新しい挑戦による利益拡大

変化と挑戦を意識した、中長期的視野での収益力強化

- 本社工場の生産レイアウト見直し、設備投資
- 次世代ITシステムの構築

3. 環境変化への対応

会社が目指す未来に向けて、チェンジ・チャレンジの方向性を決定

- 創業90周年(2038年)に向けた社内プロジェクト

4. 働きやすく、働きがいのある職場づくりと人材育成

社員一人ひとりが個性と能力を発揮できる場の実現

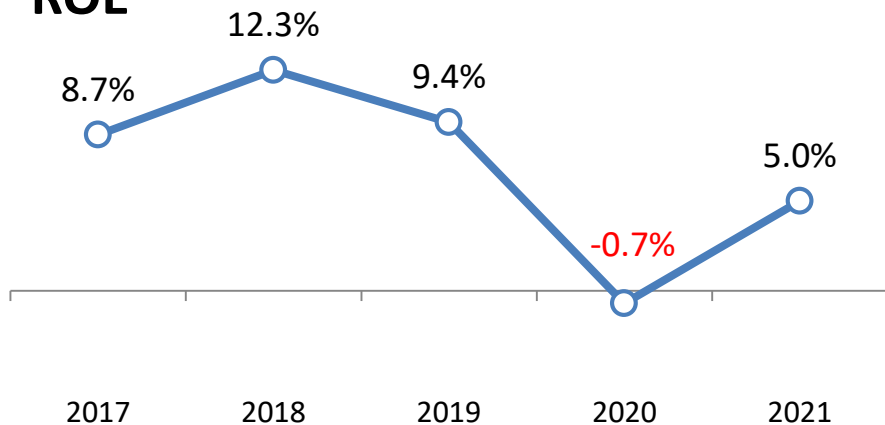
- 社員エンゲージメントの向上
- 働きやすさを追求した本社機能強化の推進
- 現場経験の浅い若手社員の教育（製造部）



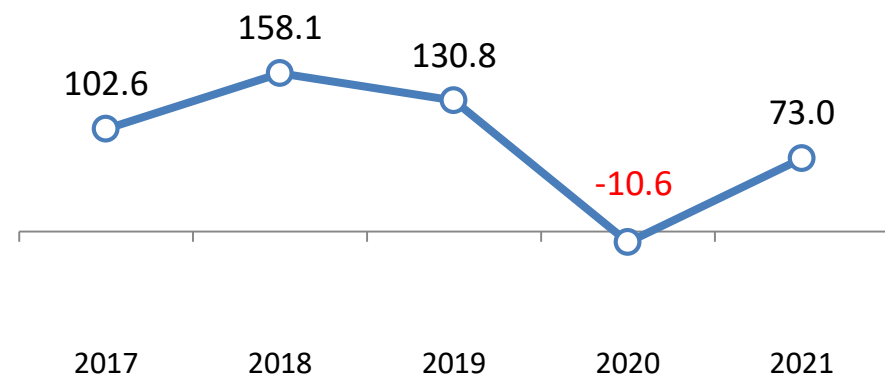
ファミリーデー実施による社員エンゲージメント向上

(参考) 各種指標

ROE

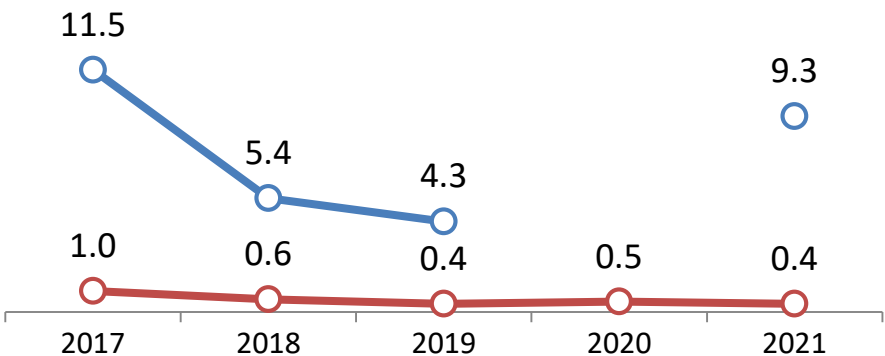


1株当たり当期純利益金額 (単位:円)



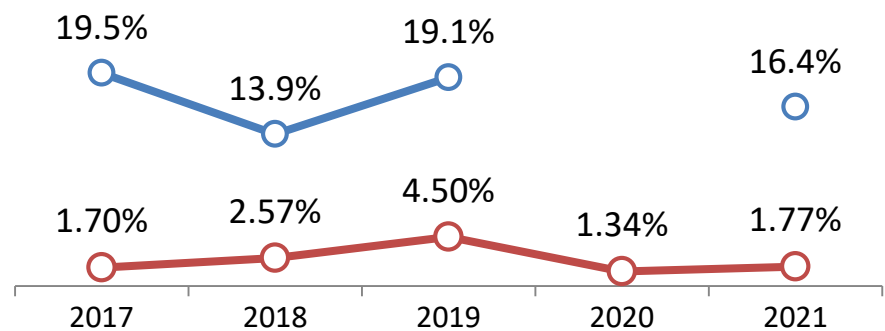
PBR、PER (単位:倍)

○ PBR ○ PER



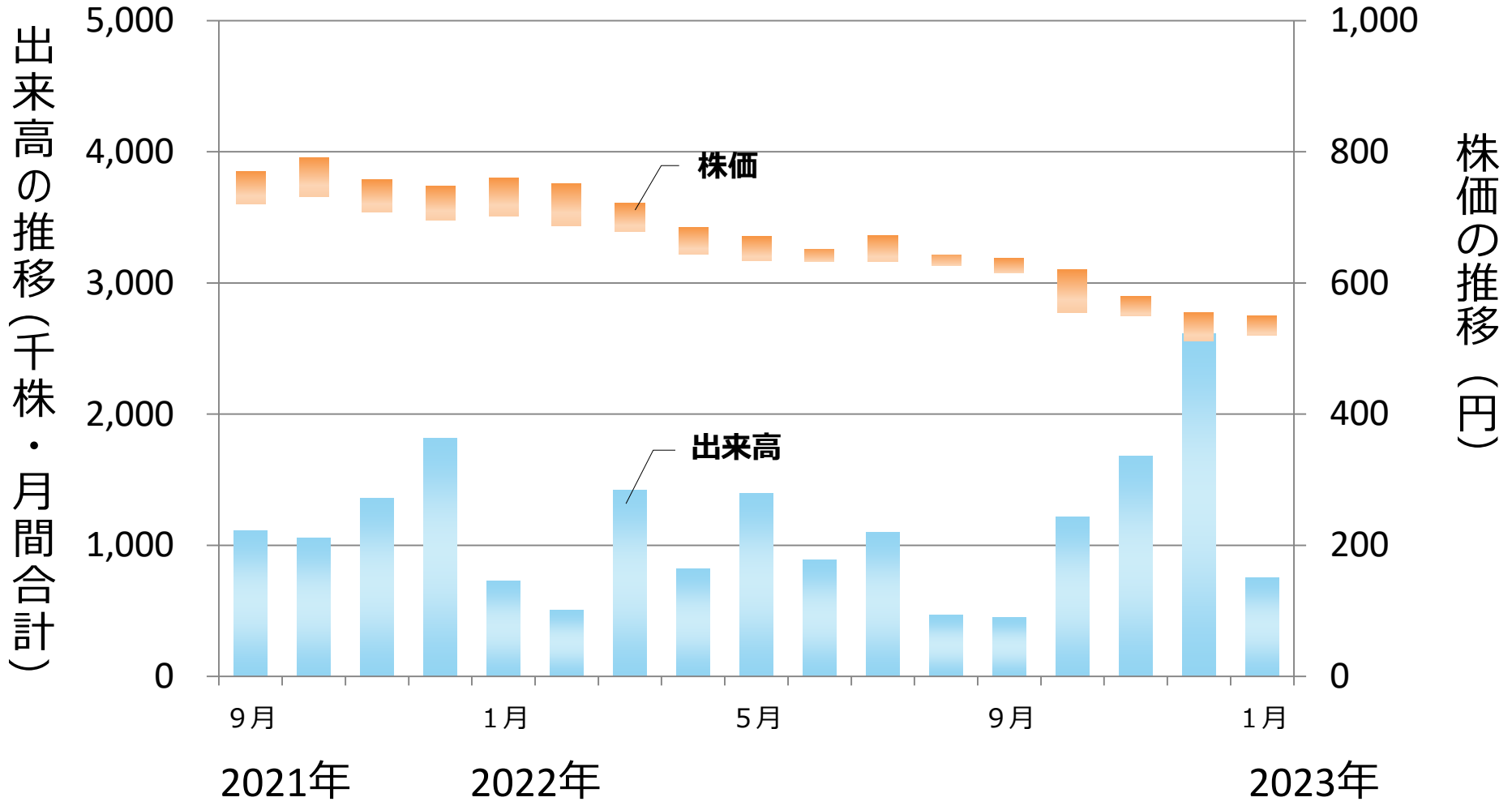
配当性向、配当利回り

○ 配当性向 ○ 配当利回り



※ 2020年度のPER及び配当性向は、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

■ (参考) 株価・出来高推移



■ 投資家・株主の皆様への情報発信

TAKAMAZ

検索

<https://www.takamaz.co.jp/>

株主・投資家情報

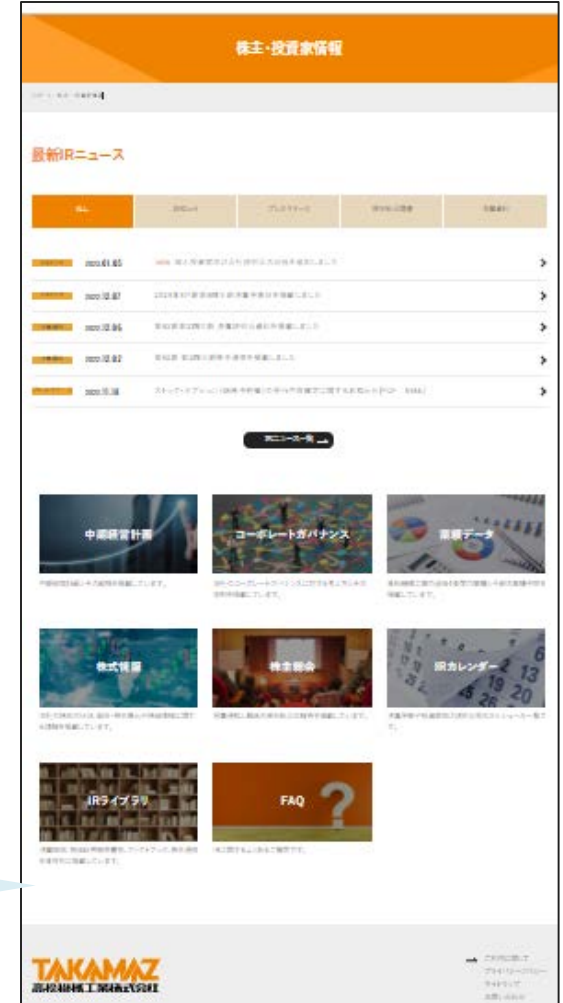
● 株主・投資家情報ページ



● トップページ



当社の経営理念、中期経営計画、コーポレートガバナンス、業績データ、株式情報、IRライブラリーなど、様々なIR情報を掲載しています。



TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

